



# 福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

〒960-1295 福島市光が丘1番地 / TEL (024) 547-1111 ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>

## 手術部長就任のごあいさつ

手術部 部長 黒澤 伸



平成25年11月1日をもって福島県立医大附属病院手術部長を拝命いたしましたのでごあいさつ申し上げます。

当院には福島県の内外から外科的および内科的診療が必要な患者さんが大変多く訪れますが、そのなかでも痛みや時間を要する治療、検査を必要とする場合に

患者さんに利用していただく部門が手術部といわれるところで。当院の手術部には12の手術室があり、休日も含めて毎日稼働しております。一般的な外科手術に加え、心臓血管外科や移植手術のような長時間手術、ロボット手術などの最新の技術で行われる手術、最近では麻酔を必要とする内科的な検査や治療も増えつつあり、1年間で6,000人前後の患者さんが手術室を利用されます。そしてこのうち約4,000人から4,500人の患者さんは全身麻酔や神経ブロックを必要とする治療を受けています。そのため当院の手術部では院内の外科医、内科医、麻酔科医に加え、50名を超える看護師と臨床工学士、放射線技師が集結して24時間体制で診療にあたっています。

当院の手術室でおこなわれる診療は世界の標準レベルを超えるものであり、最先端の診療技術を用いた手術も可能となっておりますが、県立医大病院手術部としてなによりも大切にしているのは手術が安全に施行されることです。手術中の血圧や呼吸を監視するモニターといわれる装置は最先端のものが導入されており、最近では全身麻酔下に手術をされる患者さんの脳波を観察して患者さん個々人に合わせた適切な麻酔の深さをこまかく調節することができるようになっていきました。また、この10年間で開発された新しい麻酔薬や麻酔科の診療技術の発展も患者さんの手術が安全に行われることに大きく貢献しています。最近の麻酔科学の進歩により、さまざまな合併症をかかえた最重症の患者さんでも全身麻酔による手術が可能になっています。そしてこれらによって手術を施行する医師は手術に集中でき、手術成績をさらに向上することができます。

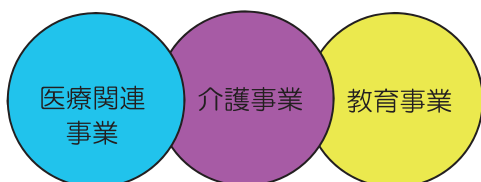
患者さんが手術室を利用した診療を受けられるのは1日のうち数時間、長くても10時間前後ですが、患者さんが安心して手術を受けられ、また手術室を利用されるその短い時間が、手術後の患者さんとご家族の幸福に少しでも貢献できるよう、手術部スタッフはこれからも努力してまいります。どうぞよろしくごお願い申し上げます。

第21号のなかみ

- 2ページ……○病理診断をご存じですか？  
○栄養についてのお悩みはありませんか？～栄養相談のお知らせ～  
○病院棟エレベーター改修工事について
- 3ページ……○口腔ケアについて  
○「お互いに助け合える職場づくり」をモットーに
- 4ページ……○医科大学病院ボランティアの方々に福島県社会福祉協議会会長表彰・会長感謝が授与されました  
○県民健康管理調査の「こころの健康度・生活習慣に関する調査」とは？



全国展開するニチイの3つの事業



株式会社 ニチイ学館

福島市栄町6-6 UNIXビル3F  
TEL 024-524-2835 Fax 024-522-0306

マチのほっとステーション

# LAWSON

ローソン福島県立医科大学附属病院店 (エレベーターホール隣)  
ローソン福島県立医科大学店 (7号館内)

## 病理診断をご存じですか？

病理診断科・病理部 部長 橋本 優子



皆さん、平成25年12月から病理診断科・病理部部長を務めさせて頂いております、橋本と申します。ご挨拶とともに、病理診断科・病理部のご紹介をさせて頂きます。

皆さまからは、「病理診断科で診てもらった事が無いね。」と言った声が聞こえてきそうですが、内視鏡検査や手術を受けられた時、病理診断について説明を受けた事はありませんか？

患者さんから採られた細胞・組織や臓器は、すぐ顕微鏡用のガラス標本となり、顕微鏡で観察され、どんな病気なのか調べられます。これが病理診断（細胞診・生検診断）で、病理医が専門に担当しています。

病気の本質を見極め、正しい診断が得られなければ、適切

な治療は始められません。病理診断は最終診断として、臨床医に伝えられ、それが治療に活かされます。また手術中の迅速診断を行い、切除範囲決定などにも役立っています。病気によっては、原因となる遺伝子診断、治療薬の適応判定や治療効果判定も、病理組織を用いて病理医が行っています。

このように臨床医と病理医が連携することで、より良質の医療を患者さんに提供することが可能となります。

当院では年間に細胞診約8,000件、生検・手術検体約6,000件、迅速診断約800件、病理解剖約40件について、4名の病理医と2名の専攻医が病理診断を行っています。またカンサーボード・CPCなどの検討会を行い、各臨床科と連携を深め、診断・治療の向上に努めています。

患者の皆さんと直接お目にかかることはありませんが、皆さんがより良い医療が受けられるよう、病理診断科・病理部一同より正しい病理診断を目指して、これからもがんばって参ります。宜しく御見知りおきください。

## 栄養についてのお悩みはありませんか？ ～栄養相談のお知らせ～



食事についてのお悩みはありませんか？医事課栄養管理係では、このたび管理栄養士による相談窓口を開設しました。「最近、おなかが出てきたんだけど、食事は何を食べてもいいんだろう？」「会社の健康診断で肝臓に脂肪がたまっているといわれたんだけど、お酒は全然飲めないのかな？」など、日頃から疑問に思っていること何でもかまいません。予約は必要ありませんし、無料で御相談に応じます。

当日は、管理栄養士による「バランスのとれた食事」のご紹介いたします。

下記の時間内に開催場所へお越しただきただけでご参加いただけますので、お気軽に相談してみませんか。なお、御相談いただいた内容については秘密が厳守されます。

【日 時】平成26年4月17日（木）13:00～14:00

【場 所】栄養指導室（病棟1階 救急外来向かい）

お問い合わせ  
医事課栄養管理係 TEL：024-547-1077(内線3041)

## 病院棟エレベーター改修工事について

総務課 施設係

当院のエレベーターは現在、設置してから27年が経過しており、老朽化が著しく進み、さらには改正された法律の安全基準に適合していない部分もあり、早期の全面的改修が求められていました。

これらのことから、この度、年次計画に基づき、病院棟のエレベーター改修を行うこととなりました。

工事は、現在の安全基準に適合させるとともに、エレベーターの扉や内装を取り替えて、よりいっそう明るいイメージのものとする計画になっております。

現在の工事は、平成26年3月上旬に2号機が、続いて3月下旬に1号機が終了予定であり、引き続き、来年度には6、7号機の改修工事を予定しております。

一連の工事が完成すれば、呼びボタンを押したフロアに最寄りのエレベーターが到着する仕組みを導入することで、エレベーターの待ち時間が短くなり、サービス向上につながるものと考えます。

当院をご利用の皆様には、工事期間中ご不便・ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力の程よろしく願いいたします。



改修工事中の病院棟エレベーター1・2号機



歯科口腔外科

部長 長谷川 博



口腔ケアは、その用語自体が誰にも受け入れやすく、マスコミにも取り上げられ、最近では一般の方々にも広く浸透してきました。当院において、最初に口腔ケアの御紹介を頂いたのは、消化器外科と心臓血管外科の先生方からでした。20年以上も前の事ですので、口腔ケアという用語すらなく、どこまでの歯科処置を行ったらいいか、試行錯誤したことを覚えています。

平成24年度の歯科診療報酬の改正では、周期期における口腔機能の管理、チーム医療が初めて評価されました。特に、がん治療では、手術だけではなく化学療法、放射線療法を受ける患者さんへの口腔ケアに対しても口腔機能管理料を算定できるようになりました。がん治療における口腔ケアは誤嚥性肺炎の発症リスクを下げ、化学療法や放射線療法による口腔粘膜炎を軽減するなど、重要な支持療法の一つです。口腔ケアの効果を十分に発揮さ

せるには、がん治療開始の「前」から導入し、治療中は「セルフケア」として継続させることが大切です。口腔内トラブルの原因となりそうな歯牙の治療や、義歯の調整を予め行うことと、患者さんに自ら口腔ケアを実践して頂くことで、その発症を明らかに減らすことができます。

当科では、毎週金曜日を中心に口腔ケア外来を開始し、最近では月100例を超える院内紹介を頂いておりますが、患者さんの増加には、マンパワーの点からも対応が難しくなりつつあります。そこで、昨年からは臨床腫瘍センターと協力し、福島県歯科医師会との連携を始めました。これにより患者さんが、かかりつけ歯科医院において、気軽に口腔ケアを受けられるようになります。これからも医科歯科病診連携を進めていきたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

## 「お互いに助け合える職場作り」をモットーに

## ダスキンヘルスケア

私どもダスキンヘルスケアは今年度より手術室において手術環境維持向上のための環境衛生業務と助手業務、メッセンジャー業務をさせていただいており、外来におきましても内視鏡洗浄業務をさせていただいております。

手術室のスタッフは14名で、内視鏡洗浄スタッフは2名で運営しております。

環境衛生業務は術間術後の清掃を行っており、助手業務はガウン介助や患者様の搬送補助を中心として消耗品補充や清掃等を行っております。

先生方や看護師の皆様が本来の医療行為や患者様に集中して向き合えるよう、補助業務をサポートして行く事が我々の仕事の大きな目的の一つと考えており、業務は8:30~21:00の間で稼働しております。

夜間のスタッフは主に17:00~21:00の間で勤務しており、夜間も昼間と同様に清掃業務と助手業務を行っておりますが、昼間よりも術後清掃を実施する件数が多く、翌日予定の手術ベッドの作成や、手術用ユニフォームやリネン類の回収と補充、廃棄物処理等、幅広く行っております。

「お互いに助け合える職場作り」をモットーにし、チームワークを発揮して毎日、夜遅くまで頑張っております。

日頃から私達は患者様に安心して手術を受けて頂けるよう手術室の衛生環境を維持向上させるための勉強会やミーティングを企画し、サービスの向上に努めております。

今後もスタッフ全員で努力して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。





## 医科大学病院ボランティアの方々に 福島県社会福祉協議会会長表彰・ 会長感謝が授与されました

医大病院において、長年にわたり患者さんの円滑な受診のため毎日欠かさず活動を行い、また、活動内容の充実のため、定期的に研修会を行うなど、積極的に社会福祉に関するボランティア活動に取り組んでいる「けやきの会」の方々に対して、2月22日に開催された「第17回ふくしまボランティアフェスティバル」記念式典の席上で、福島県社会福祉協議会会長表彰及び会長感謝が授与されました。

これは、「けやきの会」における長年にわたる活動に対し、その功績が特に顕著であるということから、会員の安齋幸子さん、鈴木恵美さん、和田裕子さん、山口祐子さんの4名に会長表彰が、



また、菊地美子さん、佐久間トシエさん、伊藤恵子さん、箭内照代さんの4名に会長感謝が授与されました。

「けやきの会」の皆さんには、このたびの受賞を契機としましてさらなるご活躍をされますようご期待申し上げます。

## 県民健康管理調査の「こころの健康度・生活習慣に関する調査」とは？



東日本大震災と、東京電力福島第一原子力発電所事故で困難な状況に置かれている県民の皆さまの「こころ」や「からだ」の健康上の問題を正しく把握し、適切な保健・医療・福祉のサービスを提供するとともに、将来の子どもたちの世代に向けて、自然災害時や緊急時における「こころ

のケア」のより良いあり方を受け継ぐことを目的に、こころの健康度・生活習慣に関する調査を実施しています。

対象となるのは、避難区域<sup>注</sup>（平成23年度調査票送付時）などの住民の方で、その方々に調査票を郵送します。

調査票は、対象の方の年齢によって、ご自分でご記入いただくか、保護者の方にご記入いただくか、異なります。

区分	対象者	備考
一般	平成10年4月1日以前に生まれた方	自記式
中学生	平成10年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた方	保護者回答（一部自記式）
小学生	平成13年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた方	保護者回答
4～6歳	平成19年4月2日から平成22年4月1日までに生まれた方	保護者回答
0～3歳	平成22年4月2日から平成25年4月1日までに生まれた方	保護者回答

主な調査項目は、次のとおりです。

- 現在のこころとからだの健康状態について
- 生活習慣について（食生活、睡眠、喫煙、飲酒、運動）
- 最近の行動について
- 現在の生活状況、人とのつながりについて（「一般」）など

注：南相馬市、田村市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村の全域、伊達市の一部（特定避難勧奨地点関係地区）



すべてを地域のために  
**東邦銀行**

ご利用・お問い合わせは **福島医大病院支店**

窓口営業時間：平日午前9時から午後3時

電話 024-548-5331（受付時間：平日午前9時から午後5時）

## スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

**営業時間** 平日 7時～20時  
土日祝 9時～19時

アメリカ シアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやペストリー、サンドイッチをお楽しみいただけます。

